佛教大学見学感想

今週の火曜日、私は聶さんと京都の佛教大学に見学して行きました。

佛教大学にところ着きました。たくさんの大学生たちはバッグを背負いて、出入しました、私は数ヶ月前に大学生活に戻ったようです。すぐ後に、音窪さんが私たちを迎えに来て、我々はお互いを暖かく迎えて、また簡単な自己紹介をした研究を訪問するホールに案内してくれました。

ちょうどホールに入った、音窪さんはこの建物が最新ビルドしますと説明しました、そのため、施設や環境は最新の状態です。まず、私たちが見たのは可愛い仏像、音窪さんはこれが学生に設計しましたと紹介した、大学生の創造力に感心します。私たちは前進し続ける、我々はいるいる酒を見ました、この酒は有名の佛米夢乃酒です。佛教大学酒造りについて、大学生は春学期にお米とお酒の文化を学びます、美山での田植え、草取り等の農作業を体験します、秋学期は、お酒の醸造体験、販売などを学びます、講義と体験を通して、働くことの意義や役割を理解し、社会人としての能力を身につけ、課題解決できる資質を身につけるキャりア形成を目標としています。

2 階のこれは先生の事務室、コンピューターの公共エリアがあります、学生はどこの地域の残りの部分と同様に無料のインターネット学習、検索については、無料することができます、快適な机と椅子がある、ソファーより多くの自由は同じ畳、学生リラックスできる本を読むの上に横になっている音楽を聴く 中国と比較して良好な学習環境を学生に提供するには、より多くの自由を日本します。

3階以上はクラスに学生の教室、クラスにいくつかの教室がある、先生が言ったひたむきな情熱、慎重に耳を傾ける学生、私は岩石の多くの表示外の教室を見まして。 学校の周りのロックだと音窪さん言いです、などなど深成岩、火山岩があります。 とてもいい気分です。 合理的に勉強する環境のリソースを使用することができます。 音窪さんは案内してくれました空の大きな教室には教室は学生クレジット カード装置、便利な先生の名前をご紹介します。 テーブルが開かれはパソコンです、技術は本当に高度です。

ホールを出たし、新聞公開は通りの側にウィンドウを発見しました。 このUNIPAです 、佛教大学で使用される教務システム、このニュースは例のシステムなどを使用する方法について説明します。 私は今UNIPAを勉強しています、この製品は安定しており、信頼性があります。私は懸命勉強するより決定します。

それから私たちは輝かしい佛ホールに行きました、ここはいくつかの彫像、佛像の下を崇拝すること神の場合です。3 つのテーブルを合計します、右側が先生の席、毎朝して知識を講義で先生が座っています。左のテーブルにはマイクがあります、それに使用して、キャンパス全体が聞くことができます、本当に素晴らしい！

一緒に別のパビリオンに行った、大きな大桓本屋があります、学生はここを購入する来ることができます。 文房具、書籍のすべての種類を購入します、ので、雑誌、専門書、コミック、試験書籍等がありますので非常に便利な大学で。 そばは図書館です、残念ながら、入力だけでなく学生証があります、学校のセキュリティを強化します。 ゲートの外は大きなバス、駐車場、学校広場です。 これらのバスは、それはちょうどキャンパスと他のキャンパス各キャンパスから転送です。 後 は、音窪さんは温かみのあるその他の設備、学校の文化に私たちを紹介しました。私は2 つの国の違いを感じた、成果に焦点を当てた中国、これは何を感じる、実践と創造性です。

今回の佛教大学見学、良い環境、良い創造性の学生、そのような良い大学など、新しいことを学んだの多く見かけました、私は自分の経験を豊かにして知識を増やした、それは人生の貴重な富です。